事　務　連　絡
令和8年1月29日

管内関係機関 担当者　様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第4週(1月19日～1月25日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数（1医療機関当たりの平均報告数）

感染症の種類	県北保健所管内（平戸市、松浦市、佐々町）			長崎県	全国
	2週	3週	4週	4週	4週
インフルエンザ	●22.00	●35.00	●59.67	●22.90	16.64
新型コロナウイルス感染症	0.67	0.67	1.33	0.69	1.99
RSウイルス感染症	0	0.50	1.50	0.45	0.78
咽頭結膜熱	●4.00	●8.00	●20.00	1.55	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.50	2.00	2.16	2.87
感染性胃腸炎	9.50	7.00	13.00	7.61	8.55
水 痘	▲1.00	0	▲1.00	0.32	0.42
手足口病	0	0	0	0.58	0.06
伝染性紅斑	●3.50	●3.50	●2.50	0.55	0.26
突発性発疹	0	0	0.50	0.29	0.24
ヘルパンギーナ	0.50	0	0	0.06	0.02
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.03
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				1.38	0.45
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0	1.00	0.58	0.37
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0.03

急性呼吸器感染症（ARI）	47.67	69.67	91.67	76.14	65.15

●：警報レベル　▲：注意報レベル

【トピックス】　インフルエンザが流行しています。

第4週の長崎県の患者報告数は1168人で、定点当たり報告数は22.90となりました。2週続けて増加し、警報レベルの報告数が10週間継続しています。

地区別にみると、10保健所のうち5保健所で警報レベル、3保健所で注意報レベルの報告数となっています。年代別では、10歳未満（52%）、10代（32%）が多く、学校等の臨時休業も前週より増加しました。

また、12月はインフルエンザA型が中心でしたが、年明け以降インフルエンザB型の患者の増加がみられている医療機関もあります。 今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

【トピックス】　感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎は、12月以降に患者が増加する傾向にあります。本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。

また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。ノロウイルスに感染した患者の手指から食品を介して感染します。予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

【トピックス】　咽頭結膜熱に注意しましょう。

県北地区の第4週の定点当たり報告数は、「20.00」で前週より増加し、2025年第18週に「4.00」を超えて以降、警報レベル報告数が断続しています。

本疾患は、アデノウイルスによる感染症で、発熱・咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）および結膜炎を主症状とします。主に夏季に流行が見られますが、年間を通じて発生します。

感染経路は、飛沫感染、手指を介した接触感染であり、夏季にプールの水を介した結膜への直接侵入により感染する場合もあるため、「プール熱」とも言われています。治療は対症療法となる為、感染予防が重要です。手洗いや手指消毒を励行しましょう。

長崎県県北保健所 地域保健課 健康対策班 TEL 0950-57-3933